

豊前市東部地区工業用水道事業経営戦略
(令和6年度改定版)

団 体 名 : 豊前市

事 業 名 : 豊前市東部地区工業用水道事業

策 定 日 : 令和 7 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 7 年度 ~ 令和 16 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水(令和4年度末現在)

供 用 開 始 年 月 日	平 成 14 年 7 月 1 日	契 約 水 量	350 m ³ /日
給水先事業所数	1事業所	一 日 平 均 配 水 量	650 m ³

② 施 設

水 源	☐ 表流水 , ☐ ダム , ☐ 伏流水 , ☒ 地下水 ☐ 受水 , ☐ その他 (複数選択可)		
施 設 数	浄水場設置数	0	管 路 延 長 4 千m
	配水池設置数	1	
現 在 配 水 能 力	1,800 m ³ /日	計 画 配 水 能 力	2700 m ³ /日

③ 料 金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	基本料金 45円／m ³ 超過料金 45円／m ³	
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	平 成 18 年 4 月 1 日	

④ 組 織

上下水道課9名で水道事業、公共下水道事業、工業用水道事業を運営しています。そのうち1名を工業用水道事業に配置しています。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

平成19年度より商工観光課から上下水道課へ管轄を変更し、水道事業と同じ組織で運営を行なうことで経費削減をしました。

(3) 経営分析

料 金 収 入	(R5)	10, 492千円	(R4)	10, 636千円	(R3)	11, 532千円
収 支 差 引	(R5)	50千円	(R4)	1, 649千円	(R3)	775千円
経 常 収 支 比 率	(R5)	100.27%	(R4)	110.14%	(R3)	104.14%
現在配水能力に対する契約率	(R5)	19.44%	(R4)	19.44%	(R3)	19.44%
現在配水能力に対する施設利用率	(R5)	35.56%	(R4)	36.17%	(R3)	39.17%
料 金 回 収 率	(R5)	67.71%	(R4)	84.26%	(R3)	76.57%
【上記の指標等を踏まえた経営分析】 現在1事業所への供給を行なっています。事業所の生産量に変化がないため、利用水量はほぼ同一です。						

2. 将来の事業環境

(1) 水需要の予測

契約事業所数については変更がない見通しです。現在契約中の事業所において施設の増設があった場合供給水量の増加が見込まれます。

(2) 料金収入の見通し

令和9年度に新たにタンクを設置し、料金収入が増加する見通しです。その他、現在契約中の事業所において施設の増設があった場合増加が見込まれます。

(3) 施設の見通し

令和9年度に新たにタンクを設置する予定です。その他、現在契約中の事業所において施設の増設があった場合配水施設の増設等が見込まれます。

(4) 組織の見通し

今後も上下水道課で運営を水道事業と連携して行ない職員1名体制を維持します。

3. 経営の基本方針

1. 事業概要

平成14年度から供用を開始し、現在1事業所へ給水を行なっています。1事業所への供給のため事業所の経営状況により事業運営に影響を受けます。

2. 将来の事業環境

工業用水道事業は、東部地区及び小石原工業団地の企業へ低廉な水を安定的に供給することを目的としています。このことが豊前市の産業の発展につながり、雇用や経済活動の活性化に寄与していくことになります。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目	標	契約先企業の施設増加にも対応できるよう現在の能力を維持します。
---	---	---------------------------------

- ・日常の管理を行い施設の実耐用年数の長期化に努めます。
- ・継続して安定供給に努め、企業の安定経営のため工業用水道事業を継続させます。
- ・タンク設備の一部が老朽化により漏水が発生しているため、令和9年度に新たなタンクを設置する予定です。

② 収支計画のうち財源についての説明

目	標	現状の経営収支比率を維持し安定経営に努めます。
---	---	-------------------------

- ・料金については現状の水量に、タンク設置により見込まれる使用量の増加を加えて算出しています。
- ・必要な投資を行い際には将来のキャッシュフローを考慮し、起債を行ないます。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・経費については通常の営業に費やす経費を積算し、過去の実績値を基準に算定しています。
- ・職員については現状1名体制ですが、継続して上水道と兼務することによりこの体制を継続します。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	事業規模が小さく検討いたしません。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンスाइジング)	事業規模が小さく最小単位で整備を行なっているため当面は予定いたしません。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	事業規模が小さく最小単位で整備を行なっているため合理化は検討いたしません。
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	施設・設備については適切な修繕により長寿命化を図り、現施設の実耐用年数を伸ばすよう努めます。
施設の共有化	予定がありません。
その他の取組	予定がありません。

② 財源について検討状況等

料	金	予定がありません。
企 業 債		起債する場合には将来のキャッシュフローを考慮し、起債額を検討します。
繰 入 金		予定がありません。
資産の有効活用等(*2)による 収 入 増 加 の 取 組		予定がありません。
そ の 他 の 取 組		予定がありません。

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委	託	料	ありません。			
修	繕	費	適切な修繕を行い耐用年数の増加を図ります。			
動	力	費	昨今の物価高騰やエネルギー問題等の情勢を踏まえ、増加すると見込んでいますが、機械設備等の更新・導入にあたっては、省エネルギーに対応した製品を採用する等、動力費の削減に努めます。			
職	員	給	与	費	水道事業と連携して経営を行ない最低限の人数で経営します。	
そ	の	他	の	取	組	水道事業と連携して経営を行ない管理経費について縮減します。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	毎年度の決算と投資・財政計画の差異を把握し、その原因を整理して翌年度以降の経営活動に反映します。少なくとも5年に一度は経営戦略の改定を行います。
-------------------------	--